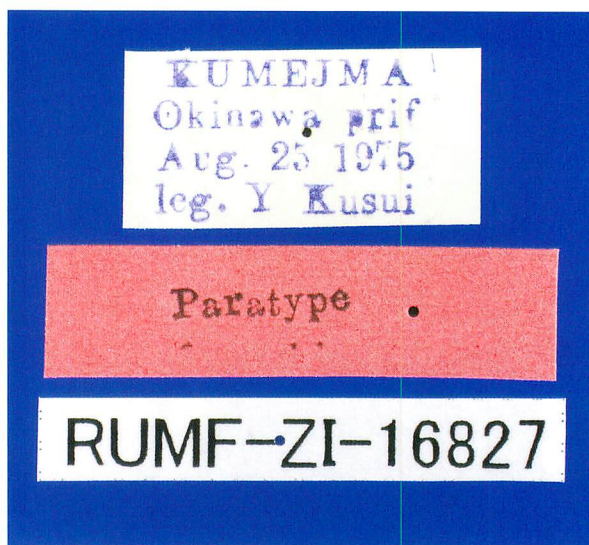
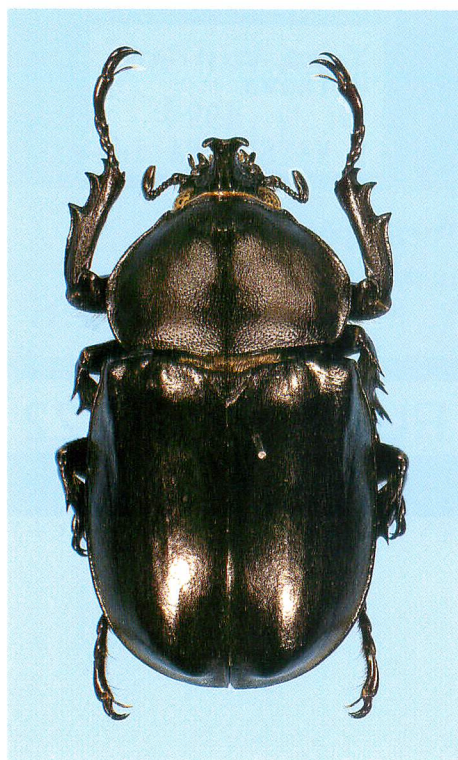


# 琉球大学学術リポジトリ

[和名] クメジマカブトムシ [学名] *Allomyrina dichotoma inchachina* Kusui, 1976

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2009-10-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 楠井, 善久 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/12661">http://hdl.handle.net/20.500.12000/12661</a>

## クメジマカブトムシ

*Allomyrina dichotoma inchachina* Kusui, 1976

Paratype (RUMF-ZI-16827)

原記載：楠井善久, 1976. 沖縄のカブトムシについて. 昆虫学評論, 29 (1/2): 51-54.

## タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16827	Paratype	日本沖縄県久米島	1975/08/25	楠井善久	♂	乾燥
RUMF-ZI-16828	Paratype	日本沖縄県久米島	1975/08/25	楠井善久	♂	乾燥
RUMF-ZI-16829	Paratype	日本沖縄県久米島	1975/08/25	楠井善久	♀	乾燥
RUMF-ZI-16830	Paratype	日本沖縄県久米島	1975/08/25	楠井善久	♀	乾燥

本亜種は平地や人里に生息する日本亜種 *ssp. septentrionalis* と異なり、自然林に棲息するため、島では山頂付近に棲息していた。そのため、久米島の子供達にはカブトムシは手の届かないものであった。山頂に自衛隊基地があり、民間人が基地内で不審な行動をとらないようにと、採集時は小銃を持った隊員が常に後ろに付いてきた。亜種を命名した当時は形質に差が少ないとの意見もあったが、その後の交雑試験で日本亜種や沖縄亜種 *ssp. takarai* に比べてかなり差があり、また DNA による系統解析の結果、他の亜種よりも古いタイプのもんとされている。種小名の *inchachina* は、久米島の言葉で角の短い山羊、あるいは短い角をインチャチンと呼ぶことに因んで命名した。

(楠井 善久)